

【専門教育科目領域/専門科目群/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健指導論	NSP33_008	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
須田 由紀	305	yuki.suda	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	人々が自らの健康状態を理解し、より健康的な日常生活を送る上で必要なセルフケア能力を高めるための保健・看護の知識や技術を獲得し、自ら健康管理の実践を行えるようになるための保健指導・健康教育の理論と技術を学ぶ。また、健康問題を抱える人々の疾病からの回復を図り、病状の悪化を防ぐことを目的とした療養指導とその実践について学び、療養生活の質を高める保健指導の方法を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	実習等で対象者に効果的な保健指導ができるように、主体的・積極的に講義に臨んでください。				
教科書	公衆衛生看護学第4版 / 編：和泉京子・上野昌江 / 中央法規 / 2025				
参考書	特に指定はありませんが、必要時は講義中に紹介します。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	セルフケア能力を高めるための健康支援の意義を理解できる。		HSU(2)(3)、NS(1)~(5)		
②	保健指導・健康教育の目的や意義、基本姿勢について説明できる。		HSU(2)(3)、NS(2)(3)		
③	保健指導・健康教育の基盤となるヘルスプロモーションの考え方を説明できる。		HSU(1)(2)、NS(2)(3)(5)		
④	対象をアセスメントし、個人の特性に合った個別保健指導の計画・実施・評価の過程を理解できる。		HSU(2)(3)、NS(2)(3)(5)		
⑤	ロールプレイを通して、理論を活用した個別保健指導の基本的知識・技術を習得することができる		HSU(2)(3)、NS(2)(3)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス 健康支援方法 ・多様な場における健康支援の目的と概要 ・ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ	講義・演習	【事後学習】自身の学習計画を立案する。講義内容を復習し、理解を深める。	4	
2	健康支援に関連する理論① ・保健行動に関する理論とモデル ・健康支援に必要な健康行動を引き出す力	講義・演習	【事前学習】テキストp187~193と講義資料を読んでおく。 【事後学習】講義内容を復習し、理解を深める。	4	
3	健康支援に関連する理論② ・行動経済学とナッジ理論	講義・演習	【事後学習】講義内容を復習し、理解を深める。	4	
4	保健指導とは 保健指導に必要な基本的技術 ・セルフマネジメント ・コーチング ・ヘルスコミュニケーション	講義・演習	【事前学習】テキストp146~154と講義資料を読んでおく。 【事後学習】講義内容を復習し、理解を深める。	4	
5	個別指導のロールプレイ① ・模擬事例のアセスメント、個別指導計画立案	講義・演習	【事前学習】参考資料などに目を通し、演習(模擬事例のアセスメント)の準備をする。 【事後学習】グループワークの内容を整理し、次回の演習準備をする。	4	
6	個別指導のロールプレイ② ・模擬事例のアセスメント、個別指導計画立案	講義・演習	【事前学習】参考資料などに目を通し、演習(個別計画立案)の準備をする。 【事後学習】グループワークの内容を整理し、次回の演習準備をする。	4	
7	個別指導のロールプレイ③ ・模擬指導	講義・演習	【事前学習】参考資料などに目を通し、演習(模擬指導)の準備をする。 【事後学習】グループワークの内容を整理し、次回の演習準備をする。	4	

【専門教育科目領域/専門科目群/看護の統合と発展】

8	個別指導のロールプレイ④ ・模擬指導 ・ロールプレイ後の振り返りとまとめ	講義・演習	【事前学習】提示されたテーマについて調べ、自己の考えをまとめ、発言の準備をする。 【事後学習】学習した内容を基に課題レポートに取り組み、自己の考えをまとめる。	2			
試	定期試験・レポート提出						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	20	0	30	10	100
総合 力 指 標	知識・技術力	20	0	0	5	0	25
	思考・推論・創造する力	20	10	0	5	0	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	5	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	5	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	5	10	15
問題を見発見・解決する力	0	10	0	5	0	15	
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験：基本的な知識と理論に関する考え方について問う。			試験後、問題とその解答についてコメントする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	提示した課題に取り組み提出する。			講義時間内でフィードバックしていく。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①	✓	課題等、適切な学習・整理ができ、保健指導に対しての学びについてまとめることができる。			講義時間内でフィードバックしていく。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	保健指導についての知識を積み上げながら学習を深められるような講義構成となっているため、全日程の出席を原則とする。特別な理由のない欠席は、取り組みの姿勢が不良と捉える。評価については試験、出席日数と課題への取り組み状況等を踏まえ、総合的に行う。			問題が生じた場合は、個別に面接を行う。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	病院看護師、行政保健師としての勤務経験を有する。						
実践的授業の内容	担当教員の病院や自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。						
そ の 他	講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 学生の理解度に応じ、講義・演習の速度や順番を調整する可能性がある。						